

しきつ P T A 新聞

編集発行
大阪市立敷津小学校 P T A 広報委員会
電話 06(6641)0101
URL : ht tp : //www.shikitu.net/pta/

PTA活動と私



PTA副会長 山本初代

私が、初めて実行委員会に参加したのは、長男が入学した年でした。「実行委員会って何？」何もわからないまま夜の薄暗い学校の階段をトントンと上がり部屋に入ると知らない人ばかり。緊張のままに時は過ぎていきました。本来私は、人とのコミュニケーションをとるのが苦手な人前です。PTA活動を通じて、たくさんの人と話し合う機会が得られ、自分なりに成長してきたと思っています。伊賀上野の野外活動センターでのふれあいキャンプ、できればあまり好評でなかった料理講習会、PTA社会見学、ちびっこ集まれ、ふれあいハイキング等々今ではなつかしい思い出のアルバムとなっています。PTA活動はどなたでも参加することができます。私には関係がないと否定的にならず、気軽に参加してみてください。子どもとふれあい、共に楽しめるのも小学生がラストエイジかもしれませんよ。今後共 PTA 活動にご理解とご協力をお願いします。

★第19回'03にし人権展★

西区民センター 11 月 19 日（水）

小雨のばらつく中、西区民センターに於いて第 19 回 '03 にし人権展に行ってきました。人権をめぐる問題についての展示を見学後、落語家の露の新治さんの講演を聞かせていただきました。楽しいお笑いの中に誰もが持つ無意識の差別意識や、また、それを未来に向けてどうとらえて行くべきかなどとても心に残るお話でした。人権というとても大きなテーマを他人事ではなく身近な問題としてあらためて深く考えさせられる一日でした。

人権啓発委員長 中村美和

・・・木津中校下四校成人教育講演会・・・

11 月 26 日(水) 難波元町小学校 講堂

「子どもの心 見えますか？」——今、大切にしたいこと—— 西井 恵子さん

子どもをとりまく環境が日々悪化しているように感じられるなか、もう一度原点に立ち帰り子どもの心を見つめてみようということで、今回、スクールカウンセラーであり、いろいろな事件の加害者 被害者となった子どもたちの精神的なケアにも取り組んでおられる西井さんの講演となりました。事例や絵本を引用しながら、いつの時代も子どもたちは認められ、愛され、必要とされることを欲していると繰り返し話されました。また、家庭で心がけることとして



1. 日常リズムを整える(心の安定をもたらす)
2. 子どもの表情を見る(特に帰宅時)
3. 子どもの話を聞く(イヤなことをはきださせる)
4. 教える、しつける(子どもが知らないことわからないこと)

そして、子どもと共に過ごす時間をつくること。
最後にカウンセラーは過去をほじくったり、親を裁いたりしません。これから何ができるのかを共に考えていきます。お気軽にご相談くださいとのことです。多くのご参加、ありがとうございました。成人教育委員長 丹井 清美



正月今昔



教頭 浅井泰三

明日から冬休み。子どもにとっては、「ワーイ、冬休みやー」と心をわくわくさせていることでしょう。保護者の皆様には、子どもとふれあうよい機会だと思います。子どもの話に耳を傾け、また、ご家族でゲームをしたり、遊びに出かけたりするのもよいのではないのでしょうか。

さていつのころから正月の趣がかわってきたように思います。私が小さい頃を思い出してみよう。年末は大掃除、その合間に、路地のあちこちで餅つきをしている光景。大変あわただしく年が明けていきました。正月になると一変して静かな感じになって、店は閉まっています。正月に食べるものは、各家庭のおせち料理。子ども達は今と比べると、はるかに少ないお年玉をもらって喜び、外では凧あげやこま回し、家の中では双六や福笑い、また、ボードゲームをして楽しんでいました。

現在では、正月でも店が開いていますし、おせち料理もいろいろなところで買うこともできます。また、子どものお年玉も高額で、外で遊ぶことも少なく、家の中でテレビゲームに夢中になっているのではないのでしょうか。

これから年々いろいろなことが少しずつ変わっていくと思います。時代の流れで変化していくのも当然でありますし、また、変わっていかなくてはいいけない部分もあります。しかし、その中で「不易」(変わることがないもの)の部分はこれからも大事にしていきたいなあと思います。

輪になって話そう！



3 年

ギャングエイジの友だちの付き合い方

10月28日(火)参観後に懇談があり、忙しい中、大半である10名の保護者が出席してくださいました。三年生は小学校生活の折り返し地点の真っ只中で、良い意味でも悪い意味でも群れになって行動するようになる頃だそうです。日頃の生活態度や言葉づかい目上の人や、自分より年下の弱者への暴言や暴力などあってはならない事です。私達、保護者もどの子どもにも声を掛けるようにしましようということでご会を終えました。3年副委員長 上坂みどり

4 年

上手なコミュニケーションのとり方について

今回懇談会で子どもとコミュニケーションをとる時間が少ないという事がよくわかりました。唯一、ゆっくり話をできる時というのが、夕食時やお風呂に入っている時でした。私達も、もう少し心にゆとりを持って、子どもたちに接し、また愛情をいっぱいかけて育てていきたいと思っています。4年委員長 岡山孝子

6 年

「友だちとは何か」

今回のテーマ「友だちとは何か」という課題をあげたのは、子どもの成長と共に、友だちどうしの意見の食い違いなどさまざまな問題が生じるという意見があり、このテーマに関して子どもたちにアンケートをとっていただき話し合いをしました。難しい年頃ではありますが、中学生に向け心の成長を保護者として見守っていききたいと思います。

6年副委員長 工藤広美



1 年

入学して半年の感想

今回の懇談では、入学して半年の感想を聞いてみました。18人中16人が、初めて小学生の子どもを持つ保護者でいろいろな事とまどいもあったようです。一学期はまだ、幼稚園保育所の延長という感じだったのが、二学期は落ち着きも出てきたとのことですが、反面、行動範囲も広がり、ケンカやケガも多くなってきた現状もあります。いろいろな経験をして成長している一年生ではありますが、まだ保護者の充分な見守りが必要であると思います。

1年委員長 岩崎 真由美

2 年

言葉づかいについて

言葉の意味を軽く考えているように思える。相手を傷つけているという罪悪感がない。皆が笑うから言ってしまう部分がある。という意見ができました。それに対して保護者である私達は、まず我が子を直す心がけをしていこうと話合い、それと同時に我が子の様子も大事にしていきたいという考えを持っている事が皆さんの姿だったと思います。勿論、先生方の姿も子どもたちにとっては「言葉を交わす大切な人の一人」であってほしいです。

2年委員長 大寄陽子



5 年

6 年に向けて

10月の学級参観の後PTA学級懇談会がありました。テーマは「6年に向けて」。これから小学校最上級生に、そして、中学と難しい年頃に入っていきます。勉強への取り組み方や家庭での対応、今の5年生の状態など、これからも、このようなことを参考に6年に向けていきたいです。学級懇談にあたり中島先生そして5年生18名中12名の保護者の方々が出席していただきました。お忙しい中ありがとうございました。

5年委員長 宮本和代

芸術発表会作品について

各家庭で飾りつけをしたクリスマスリースを持ちより、展示をしました。でき上がった皆様の作品には、いろいろな思いが込められ、それぞれのクリスマスが見えあたたかなものでした。



学級委員会





運動会の始まりで



1,2年玉入れどちらが多く入ったかな



がんばれ白組

がんばれ赤組



P T A 綱引き
むきになってどうするの？！

5,6年 組立体操
未来に架ける夢の大橋



元気に入場行進

3,4年リズムに合わせて踊ります



日頃の成果を発表

スタンプラリー11月16日

子ども会秋季スポーツ大会 11月3日(月)



ーソフトボール

キックベースボールー



区Pスポーツ祭 8月31日(日)

四校PTA親善球技大会 12月7日(日)



給食試食会

毎年恒例の給食試食会ですが、今年もたくさんの保護者が参加してくださって、メニュー、学校給食等に関して、色々とお意見をもらっていただけてとても和やかなひとりが過ぎました。
学校給食が始まってから数十年、給食を通して子どもが心身ともに順調に育って欲しいという願いを改めて感じました。
それは日本が平和で安定しているからできることだと思います。

保健給食委員長 包 信 君



ふれあいハイキング

10月19日(日)



いもほりに行きました。

ランズカップ10月18日(土)



行事予定
1月24日(土)
ウィンターフェスティバル